

## 漫画『SPY×FAMILY』におけるキャラクター言語の日英翻訳 —アーニャとヨルの言葉遣いとキャラクターを考える—

イーヴァソン房枝

(ヨーテボリ大学)

### Abstract

*This article examines the peculiar linguistic expressions used by the characters Anya and Yor in the manga SPY x FAMILY by Tatsuya Endo from the perspective of character language and character archetypes, and investigates how they are expressed in the translated English version. Anya the trickster, a young telepath, uses a peculiar form of baby talk, whereas the story's shapeshifter Yor, a professional assassin in disguise, speaks with excessive politeness. Although the English version is only partially successful in reproducing Anya's unique mix of toddler-like pronunciation and occasional adult masculine expressions, it represents Yor's consistent and overly polite expressions rather effectively.*

### 1. はじめに

日本語にはその複雑で自由度の高い人称体系や文字表記システム、多彩な文末表現等を用いた様々な言語変種が存在し、日本語のフィクション作品の多くは、これらの言語変種を利用して登場人物の属性を受け手に効果的に伝えている。金水(2003:205)は、そのような言語変種を役割語と名付け、以下の通り定義している:「ある特定の言葉づかい(語彙・語法・言い回し・イントネーション等)を聞くと特定の人物像(年齢、性別、職業、階層、時代、容姿、風貌、性格等)を思い浮かべることができるとき、あるいはある特定の人物像を提示されると、その人物がいかににも使用しそうな言葉づかいを思い浮かべることができるとき、その言葉づかいを『役割語』と呼ぶ」。役割語には、描写する人物像に応じて<女ことば>、<幼児語>、<武士ことば>等の様々な分類があるが<sup>1</sup>、その人物像と話し方はステレオタイプの結びつけられるものであり、「言語共同体の成員にその知識が広く共有されている(金水 2016:12)。「役割語とは言えないが標準語ともいえない特徴的な話し方をするキャラクター」(ibid.:7)の話す、言語共同体の一部の成員にしかステレオタイプの結びつきが認知されない言葉遣いは、役割語ではなくキャラクター言語と呼ばれる。役割語およびキャラクター言語は、日本語フィクション作品の登場

---

IVARSSON, Fusae, "The Japanese-English Translation of Character Language in the Manga SPY x FAMILY: Language and Character Archetypes of Anya and Yor," *Invitation to Interpreting and Translation Studies*, No.23, 2021. Pages 1-21. © by the Japan Association for Interpreting and Translation Studies

人物のキャラクターを印象付ける重要な手段の一つであり、その及ぼす効果が翻訳版読者に正しく伝わるよう訳出することが望ましい。しかし、「人称詞に強い制限があり、文末表現に乏しく(山口 2007:9)、表記システムも文化的背景も大きく異なる英語のような言語への翻訳においてそれを達成するのは困難を伴う。

日本のフィクション作品中のキャラクター言語およびその翻訳手法についての研究としては、村上春樹の小説『海辺のカフカ』のナカタさん他の特徴的な話し方を主に取り上げた金水(編)(2018,2019,2020,2021)他が挙げられる。中でも、山木戸(2018,2019)は、ナカタさんの話し言葉の特徴を役割語とキャラクター言語の観点から論じ、その英語翻訳版における対応を深く考察している。また、イーヴァソン(2021)は、ナカタさんと遠藤達哉著の日本の漫画作品『SPY×FAMILY』のアーニャの、キャラクターとしての共通点に着目し、山木戸(2018,2019)の分析に沿う形で、アーニャの言葉遣いの役割語的・キャラクター言語的特徴と英語翻訳版における対応を分析し、さらにアーニャとナカタさんの各結果を比較し、1)各作品で場を和ませたり状況に変化をもたらしたりするトリックスターである両者に共通するキャラクター言語的特徴は、彼らの役割語的特徴に過剰性と逸脱性を加味したものであり、2)言語共同体内での認知度が高い役割語的特徴のほうが、認知度の低いキャラクター言語的特徴より英訳版における対応度が高い、と考察している。

文学作品と漫画作品の主要キャラクターに関するイーヴァソン(2021)の上記考察 1) および 2)が、同一漫画作品内の異なるタイプのキャラクターにも適用されるかを検証することを目的として、本論考では上述の漫画作品『SPY×FAMILY』を取り上げ、アーニャとヨルというキャラクター性の異なる二人の主要登場人物の特徴的な言語表現を役割語・キャラクター言語の観点から整理し、Casey Loe による英語翻訳版における対応を分析した上で、キャラクター分類と物語における役割ならびに英訳版での対応について、イーヴァソン(2021)を部分的なベースとし新たな分析対象との比較を加えて考察する<sup>2)</sup>。日本語の漫画作品における役割語・キャラクター言語に特化した翻訳上の問題を取り上げた先行研究には DE NAZARETH FIGUEIRA (2019)他があるが、まだ数が限られている。本論考を通じて、日本の漫画作品における役割語とキャラクター言語の違い、ならびに英訳における対応度についての知見を蓄積し考察を深めることにより、役割語研究および翻訳研究の発展への貢献を目指したい。『SPY×FAMILY』は2021年5月現在の日本語版単行本発行部数が1000万部を超えており認知度が高い上、英・独・仏・西語版の単行本も発行されており将来的に英語以外の言語版との比較研究も可能であることから、かかる目的に適した作品であると言える。

## 2. 作品および分析対象の登場人物について

### 2.1 『SPY×FAMILY』について

『SPY×FAMILY』は集英社のマンガ雑誌アプリ／ウェブコミック配信サイトにおいて 2019 年 3 月より日本語版と英訳版が同時隔週連載されており、2021 年 5 月現在、単行本が日本語版は第 6 巻まで、英訳版は第 4 巻までが発行されている。本稿では、日本語版・英訳版ともに第 3 巻までを調査資料とする<sup>3</sup>。物語は、スパイ任務遂行のために形成された仮初めの家族（父はスパイ、母は殺し屋、娘は超能力者）の日常とスパイアクションをコミカルに描いたものである。父・母・娘は互いに正体を隠しているが、心を読める娘だけは全てを知っているという設定であり、1960 年代の旧東西ドイツをモデルにしたと思しき冷戦状態の架空の二国“東国（オスタニア）”と“西国（ウェスタリス）”を舞台としている。西国の敏腕諜報員である主人公・黄昏（たそがれ）は、「東国の要人の子息が通う名門校に子供を通わせることにより要人と接触し東国の動きを探る」という任務のため、東国に潜入し“精神科医ロイド・フォージャー”として急遽家族を作る破目になる。孤児院で賢そうな女兒（アーニャ）を引き取り、利害の一致する女性（ヨル）と偶然出会い偽装結婚した黄昏＝ロイド（以下「ロイド」に統一）は、実はアーニャがテレパスであることもヨルが殺し屋であることも知らぬまま、任務の遂行を目指す。

## 2.2 アーニャの人物像

アーニャは、東国のある組織の実験によって生み出されたテレパスであり、周囲の人間や動物の思念を読むことができる。組織の施設から逃亡し孤児院で暮らしていたが、ロイドの養子になる。推定 4～5 歳だが、ロイドが就学年齢の子を求めているため 6 歳と自称。人の心を読んで正解を知ることにより優秀さを装えるが、実力では読み書きもおぼつかない。「父」と「母」の心を読み彼らの正体を知っているアーニャは、自己の希求する家庭的な生活の維持にはスパイ任務の継続が不可欠であること、また任務の遂行が東西間ひいては世界の平和につながることを、幼いなりに理解し、テレパスであることを隠しながらスパイ任務の遂行に協力しようとする。

## 2.3 ヨルの人物像

ヨルは両親を早くに亡くし、10 代の頃から弟を養うために暗殺請負の仕事をはじめた。27 歳の現在も市役所の事務員という表向きを隠れ蓑に、東国政府関連の組織の指示による“売国奴”の暗殺に従事する凄腕の殺し屋である。独身であることを周囲から訝しまれ困っていた折にロイドと出会い、「妻と死別した。娘の母親になってくれる女性を探している。」というロイドの言葉に応じて偽装結婚する。どちらも国民のためになる立派な仕事であると自負して市役所勤務と暗殺請負を続けると同時に、「夫」と「娘」の正体を知らぬまま、良き妻・母であろうと努力している。

## 3. アーニャの言葉遣いの特徴と英訳版における対応

アーニヤの言葉遣いの特徴を二つに分け、3.1 では社会的な人物像をステレオタイプ的に表す役割語的特徴を、3.2 では独特のキャラクター性を示すキャラクター言語的特徴を、それぞれ英訳版における対応状況を確認しながら分析し、3.3 にまとめを示す。

### 3.1 アーニヤの言葉遣いの役割語 (<幼児語>) 的特徴と英訳版における対応

自称 6 歳、推定実年齢 4~5 歳のアーニヤの言葉遣いには、役割語としての<幼児語>の特徴が顕著である。本節では、それらの特徴を語彙・音声・表記の面に分け、それぞれ英訳版でどのような対応がとられているかを分析する。日本語版と英訳版の巻数とページ数は一致しているため、日本語原文とその英訳文は同巻・同ページからの引用となる。なお、通常体の引用文はそれが発話であることを、斜体のものは思考であることを示す。対訳としての英訳文は、英訳版の記載に倣って大文字で表示する。引用文中のスペース追加 (作品内での文中の改行箇所を示す) と下線は筆者によるものである。また、英訳に何らかの対応が見られるものについては例文の通し番号部分にグレーでマーキングしてある。これ以降の引用文についても同様である。

#### 3.1.1 アーニヤの<幼児語>の語彙上の特徴

岡崎・南 (2011) は、「『お+体の一部』『動物・無生物+ちゃん』『職業+さん』等と、大人のことばにおいては付加する必要がないと考えられる対象にまで」(ibid.:199) 接辞を用いる点を<幼児語>の特徴としており、「表現のやわらかさ・あどけなさ、対象に対する愛着等を表している」(ibid.:199) と分析している。

例文(1)a・(1)b は接頭辞「お」の付加、(1)c・(1)d は接尾辞「さん(さま)」の付加、(1)e はその混合例である。

(表 1) アーニヤの<幼児語>の語彙上の特徴を含む文例とその英訳

番号	日本語版	英訳版	該当箇所
(1) a	おさかなーっ	FISHIES!	vol. 2:176
b	ふみだすちからと こしの ひねりを おててにつたえ て <u>そ</u> んで <u>お</u> てては えー とえーと...	I GOTTA TAKE THE FORCE OF MY STOMP AND THE MOTION OF MY HIPS... ...AND USE THEM TO FILL MY HANDS WITH...UH...	vol. 3: 109
c	..... ペンギんさんの こ ろよむの むずかしい...	READING PENGUIN MINDS IS HARD...	vol. 2: 180
d	...アーニヤ かわいい いぬさんが ほしい...	I... I WANT A CUTE DOG...	vol. 3: 155
e	アーニヤ <u>おほしさま</u> いっぱいにとって ちちの にんむ おてつだい!	IF I CAN GET LOTS OF <u>STARS</u> ... ...I CAN HELP PAPA WITH HIS MISSION!	ibid.: 93

調査資料には(1)a～(1)eの5例を含む接辞の付加10例(異なり数)が確認される。英訳版においては、これら10例(「おしろ・おうち・おさかな・おてて、ゆうびんやさん・うしさん・ぱんださん・ペンギンさん・いぬさん、おほしさま」)のうち、英語の幼児語彙としての対応が見られたのは(1)aの「おさかな」のみである。水族館で多数の魚を目にした際の発話であるため複数形になっているが、訳語のfishiesは、英語の幼児語彙の特徴の一つである指小辞(親愛や小ささを表す)の付いたdoggie /dɒ'gi/ (ワンちゃん)、kitty /kɪ'ti/ (ネコちゃん)などに通じる幼児語らしい響きがあるため使用されたものと思われる。

### 3.1.2 アーニャの<幼児語>の音声上の特徴

音声上の特徴は、同じ例が複数回観察されるものもあるが、表2に全ての例が示され、語中の促音・長音等の省略((2)の各例文)、調音点が近い子音/母音同士の置換((3)の各例文)およびその混合例((4)の各例文)に大別される。例文下の[= ]内に幼児的な不正構音のない標準的な表記を示す。

(表2)アーニャの<幼児語>の音声上の特徴を含む文例とその英訳

番号		日本語版	英訳版	該当箇所
(2)	a	いきます [=いってきます]	Bye, Papa. (吹き出し外の描き文字のため英訳文も大文字・小文字混合表記)	vol. 2:89
	b	だいじょうぶな きがする... [=だいじょうぶ]	...I THINK IT'S <u>GONNA</u> TURN OUT OKAY.	ibid.:96
	c	もっかい のる! [=もういっかい]	I <u>WANNA</u> RIDE IT AGAIN!	ibid.:158
(3)	a	アーニャ・ホージャーです [=フオージャー]	I'M ANYA FORGER.	vol. 1: 69
	a'	アーニャ・ホージャーです [=フオージャー]	MY NAME IS ANYA <u>HOLGER</u> .	ibid.: 193
	b	びづつかんいたり おべらたべたり... [=びじゅつかん]	I LIKE WATCHING AT RESTAURANTS AND EATING THE OPERA.	ibid.: 193
	c	おでけけ おでけけ♪ [=おでかけ]	FAMILY <u>OOTING</u> , YAY! FAMILY <u>OOTING</u> , YAY!♪	ibid.: 131
	c'	アーニャこのまま おでけけしたい [=おでかけ]	I WANT TO WEAR THIS ALL DAY!	vol. 2: 47
(4)	a	アーニャんちへ いらさいませ [=アーニャのうちへ いらっしやいませ]	WELCOME TO ANYA'S HOUSE!	vol. 1: 129
	b	べねじくそ・あばん・ぐっどへらーさん [=ベネディクト・アイヴァン・グッドフェラー さん]	<u>BENDERDICK I'M-A-GOOD-FELLOW. MISTER SIR.</u>	ibid.: 194
	c	いてらさい [=いってらっしやい]	BYE-BYE! BYE-BYE, PAPA!	vol. 2: 39 ibid.: 163

d	しゅじゅちゅしつ <u>いてくる</u> [=しゅじゅつしつ <u>いってくる</u> ]	I'LL GO FIND A <u>SURJ-REE ROOM!</u>	vol. 3:125
e	<u>うい</u> [=はい]	OKAY/'KAY/YEAH/SURE 等	vol. 1: 9 他

(2)b 「だいじょぶ(大丈夫)」と(2)c 「もっかい(もう一回)」については、それぞれの訳語である *okay* と *again* には特に手を加えず、代わりに *going to* を *gonna*、*want to* を *wanna* とする縮約形を用いることで対応している。「だいじょぶ」も「もっかい」も幼児らしさを強調したタイプの省略ではないため、幼児に限らずくだけた会話に頻繁に使われる *gonna*、*wanna* を用いたものと思われる。

(3)a はアーニヤ宅に配達に来た郵便局員、(3)a' は入試面接の試験官に対するの言葉である。(3)a では、日本語版で「フォージャー」が置換により「ホジャー」になっているにもかかわらず、英訳版では「フォージャー」という姓の正しい綴りである *Forger* になっている。一方、(3)a' では、「ホジャー」の発音を反映したらしい *Holger* という誤った綴りになっている。

(3)b は、入試面接の際に「美術館に行ったり、オペラを見たり、レストランで食べたり」と言うつもりが、緊張のため言い間違えたものである。英訳では、「美術館」という語自体がなくなり、「オペラを食べたり」を元にしたらしい「レストランで観たりオペラを食べたり」という意味のユーモラスな言い間違いに置き換えられている。

また、促音や長音の脱落や拗音の置換(「しゃ」→「さ」等)は規則的に必ず生じるものではなく、(3)b 「いったり」の促音、(3)a 「ホジャー」の長音「ホー」・拗長音「ジャー」のように脱落や置換なしに発音できている場合もあるので、特定の語中に、もしくは緊張が原因で起こるものと考えられる。

(3)c と(3)c'では、「おでけけ(おでかけ)」の発話状況の違いにより、前者では *outing* が *ooting* という幼児らしい不正構音を反映した綴りで表記することにより対応されているが、後者では制服試着時という状況に即した、英語として自然な表現が選ばれている。

(4)b は入試面接での問いに答えたものであるが、日本語版での置換・省略による言い間違いは、「マラプロピズム(*malapropism*)」(語感の似た滑稽な言い間違い)によるものに置き換えられている。最後の *Mister sir.* は、氏名に付加した「さん」ではなく、面接官への敬語表現 *sir* (男性に対する発話の文末に付加され敬意を表す)に、不要な *Mister* を添えたものである。

(4)d の「しゅじゅちゅしつ(手術室)」は、「手術」に当たる *surgery* /səːrdʒ(ə)ri/ を「視覚方言(*eye dialect*)」(正書法からは逸脱しているがその示す発音は標準から逸脱していない綴り)を用いて、かつ音節ごとにハイフンで区切り、*surj-ree* /səːrdʒri/ としたものである。しかし、同文中の「いてくる(行ってくる)」の促音省略への対応としては、間に入るべき *to* または *and* が省略された *go find* というくだけた形を用いることで対応している。視覚方言は、方言や外国

語の訛りのほか、話者の無教養さを示すために使われるものであり(Picone 2016)、音節ごとの区切りはたどたどしさや意味の無理解といった印象を表出するため、視覚方言と音節分割の組み合わせは<幼児語>への効果的な対応であると言える(イーヴァソン 2019)。(4)e に関し、アーニャは「はい」と返事すべきところで「うい」と言う。作中には特にフランス語の素養があるという描写はないので、フランス語の *oui* ではなく、「はい」の子音 /h/ の省略と母音置換/aɪ/ →/ui/ の混合例であろう。

(3)a'・(3)b・(4)b に対応が見られるのは、これらが入試面接での発話であり「緊張したアーニャが練習通りに話せていない」という状況を示すためであると考えられる。「はい」に相当する(4)e の「うい」については特に対応は見られず、*okay* (「OK」)、*'kay* (「OK」の省略形)、*yeah* (「うん」)、*sure* (「いいよ」)など、その状況で最も自然な受け答えの語に訳されている。「うい」は音声の省略・置換を含むため役割語的特徴に分類されているが、一風変わった肯定の返答である。それを頻繁に使うキャラクターには独特のキャラクター性が表出されるが、英訳版ではキャラクター性よりも文脈上の自然さのほうが優先されたようである。

### 3.1.3 アーニャの<幼児語>の表記上の特徴

漫画中の<幼児語>の一般的な表記上の工夫の一つに、ほとんどの台詞のひらがな／カタカナ表記と比較的簡単なものに限った漢字使用により「就学前の『幼さ』」(岡崎・南 2011:207)を表すことが挙げられる。この手法は日本語の漫画その他の表記形態のフィクション作品において話し手が意味を理解していない、または「用字を知らない」ことを表し、幼児の発話に多く用いられる(金水 2018:83、イーヴァソン 2019)。アーニャは、調査対象の過半数のページに登場する主要キャラクターであり、その登場シーンの大半において複数観察される彼女の発話・思考には、通常漢字で書かれるべき漢語系語彙や、カタカナ表記が標準の外来語が含まれるものがほとんどである。しかしそれらは、「こじいん」、「にんむ」、「すぱい」、「ぶれっしゃー」等、ほとんど全てがひらがなで書かれている。調査資料中のアーニャの台詞で例外的に漢字表記のものはわずか 2 例、カタカナで表記されているものは 13 例のみである。漢字表記語「鬼ごっこ」・「子」が現れるのは最初の 2 話に限られ、その後は漢字の使用例が観察されないため、「アーニャの台詞の表記には漢字を使用しない」という基本方針が連載初期には徹底されていなかった可能性が強い。

カタカナ表記 13 例の内訳は、欧風の人名・地名(「アーニャ」、「バーリント」等)が 5 例、オノマトペ由来の語もしくはカタカナ表記が慣用化した俗語的な表現(「カリカリ」「バレたら」等)が 6 例であり、通常的外来語でカタカナ表記が使用されているのは(「テレビ」・「ボス」)の 2 例のみである。そのほか、例外として、欧風の固有名詞であるにもかかわらずひらがな書きされているものも 2 例(学校名「いーでん」

および人名「きやさりん」) 観察された。前者は名門校イーデンへの入学前の発話で、後者はアーニャが他人の心から聞き取った見知らぬ女性の名である。「欧風の固有名詞はカタカナ表記」の原則からは外れるが、カタカナ表記のひらがな化は話者の意味不理解を示唆する効果があるため、固有名詞でもアーニャにとって馴染みの薄いものはひらがなで表記されていると推測される。

以上から、アーニャの台詞表記の原則は、「漢字不使用」と「カタカナの限定的使用」にまとめられるが、英訳版においてはこれらについての直接的な対応はほとんど見られない。固有名詞でありながらひらがな表記になっている上記2例についても、英語の標準表記である *Eden*、*Catherine* が使用されている。例外的に直接的な対応がとられているものとしては、表 3 に示す 2 例が挙げられる。

(表 3) アーニャの役割語の表記上の特徴を含む文例とその対応例

番号		日本語版	英訳版	該当箇所
(5)	a	ざんだんすうはちぶんに	TWO EIGHTHS OF AM-YOO-NISH-UN	vol. 2: 147
	b	ちち アーニャ ぼらんてい あ へたくそだし やっぱ り...	PAPA, I KNOW I WAS A BAD VOL-IN-TEER...	vol. 3:129

(5)a・(5)b は、表 2 の(4)d の例と同じく視覚方言と音節分割の組み合わせにより片言らしさを強調したものである。(5)a (=「残弾数8分の2」) では「弾薬、弾丸」を意味する *ammunition* を、*am-yoo-nish-un*、(5)b では「ボランティア (*volunteer*)」を *vol-in-teer* と表記している。これに類する英語表記上の対応は山木戸 (2019) の調査においても観察され、それについて山木戸が実施した英語母語話者対象のアンケート調査の回答の中でも、「『語を音としてでしか理解していない』『自分に関わりのないような抽象的な意味が理解できない』『流暢に話せない』『語を音節ごとに区切らなければ発音できない』など、母語を獲得中の子どものイメージとも結びつく」(ibid.:47) 効果的な手法であることが確認されている。

### 3.2 アーニャの言葉遣いのキャラクター言語的特徴と英訳版における対応

幼さゆえの限られた知的能力と相反する超常的な能力を併せ持ったアーニャは、「組織の実験によって生み出されたテレパス」という非現実的な存在である。その特異なキャラクター性は、彼女の社会的な人物像を表す役割語である<幼児語>を過剰にした、またはそれから逸脱した要素を加えた独特の「キャラクター言語」によって効果的に表されている。3.2.1 では<幼児語>の過剰性的要素を、3.2.2 ではそれからの逸脱性としての「書き言葉的表現の多用」および「<男ことば>的要素の使用」についてまとめ、その英訳における対応を分析する。

#### 3.2.1 アーニャのキャラクター言語における<幼児語>の過剰性



本項では、級友との対比で際立つ<幼児語>の過剰性と自称詞「アーニャ」の使用、ならびにその英訳版における対応を分析する。アーニャは名門校イーデンへかろうじて補欠入学し小学1年生になるが、級友らは上流家庭の優秀な子女ばかりであり、彼らの言葉遣いには幼児らしい特徴は見られない。アーニャの<幼児語>と対比するため、級友である男児ダミアンと女児ベッキーの台詞から、人称代名詞・終助詞の使用と表記における特徴が顕著な例とその英訳を表4に示し検証する。

(表4)ダミアンとベッキーの台詞の文例とその英訳

番号		日本語版	英訳版	該当箇所
ダミアン				
(6)	a	おまえんトコは？ 親は何の仕事_してんだ？ レベルによっちゃ おまえを友達に 加えて やっても いいぞ？	SO WHAT DOES YOUR DAD DO? IF HE'S IMPORTANT ENOUGH, YOU COULD BE MY FRIEND TOO.	vol. 2: 71
	b	オレに 逆らう者など 誰一人として いなかった	NEVER IN MY WHOLE LIFE HAS ANYONE DENIED ME.	ibid.: 97
	c	初めて味わわされたぜ	SHE GAVE ME MY FIRST TASTE OF IT.	ibid.:97
ベッキー				
(7)	a	あたしベッキー あなたは？	MY NAME'S BECKY. WHAT'S YOURS?	ibid.: 67
	b	あんた 情けないわね 少しは言い返し なさいよ	ARE YOU JUST GONNA STAND THERE LIKE A LOSER? SAY SOMETHING BACK!	ibid.:73
	c	あなた 意外とオトナなのね！	YOU'RE ACTUALLY PRETTY GROWN-UP!	ibid.: 74
	d	人間ってアサハカよね ヒョーメン的な 情報でしか 物を見れない っていうか	PEOPLE ARE SUPERFICIAL. THAT OR THEY JUST BELIEVE ANY DUMB THING THEY HEAR.	ibid.: 95

日本語版における二人の台詞は、軽さやくだけた印象はあるものの、共に<幼児語>的な特徴のない大人びた口調である。また、ダミアンには自称詞「オレ」や終助詞「ぞ」・「ぜ」のような<男ことば>の、ベッキーには自称詞「あたし」や語末表現「わね」等の<女ことば>の特徴が色濃く見られるという如実な性差も、<幼児語>には見られない点である。二人の台詞の英訳には、子供の語彙に比較的多く見られる(6)aの *dad*、(7)cの *grown-up* などの語も使われているが、全体的には特に幼さを感じさせるスタイルではない。むしろ、ダミアンの(6)bにおける倒置構文の使用や、ベッキーの使う(7)dの *superficial* といった、子供には難しいとされる3音節以上の語が、視覚方言や音節分割という手法なしに標準的に表記されていることから見ても、彼らの英訳版での発話スタイルに幼児らしさは特に感じられない。人称代名詞や終助詞で明示される日本語と異なり、発話スタイルの男女差は英語の場合それほど顕著ではない。しかし、女性的な発話スタイルとしてよく指摘されるものには、「断定・主張を避ける疑問文・付加疑問文の使用」・「特定の評価

的形容詞 (*charming・lovely・sweet* 等) の頻用」などがある (Lakoff 1973 他)。ダミアンと比較すると、ベッキーの発話は(7)bの「情けないわね」という終助詞の付加により和らげられた主張が疑問文の形で訳されていること、また女性が頻用するとされる形容詞の一つである *pretty* が(7)cで(副詞としてであるが)用いられていることなどから、全体的に女性的な印象を与えるスタイルになっているようである。したがって、級友との対比により際立つアーニャの「<幼児語>の過剰使用」は、英訳版においても効果的な対応がなされていると言える。

3.1の表1・2・3の例文の多くが示す通り、アーニャの自称詞は「アーニャ」である。自称詞としての名前や愛称の使用は話者の幼さを印象づけるものであり、実際の日本の幼児の発話に高頻度で観察される特徴である。幼児の自称詞使用状況を調査した守(2015)によれば、2歳児で84%が名前・愛称を使用し、一人称代名詞の使用が観察され始めるのは3歳以降である。5～6歳では、男児の3分の2が代名詞派になるのに対し、女児では「名前・愛称の使用」が63%を占める。表4で示した通り、ダミアンの自称詞は「オレ」、ベッキーは「あたし」である。他の級友らも通常の一人名詞を使用している。6～7歳の、しかも名門校の生徒であれば、自称詞が早々に「名前・愛称」から一人称代名詞に移行して当然と思われる。守(2015)の調査結果から見ると、推定実年齢4～5歳の女児であるアーニャが名前を自称詞とすること自体は奇異なことではない。しかし大人びた級友たちとの対比によりアーニャの幼さがことさら際立つのである。

英訳版におけるアーニャの自称詞は、*Anya* ではなく一人称代名詞 *I・my・me* が使用されているが、これは、英語において名前を自称詞として用いた場合、代名詞の概念を理解できていない2歳児ぐらいのイメージになり(What to Expect 2019)、アーニャには幼すぎるためであると思われる。また、日本語と英語の人称体系が異なることも、理由の一つであろう。山口(2007)は、英語のフィクションで固有名詞を人称代名詞代わりに用いて役割語的效果をあげている場合、「人称代名詞が固定的な英語において」「固定化された人称の体系をスライドさせて使」った(ibid.:19)際の役割語的インパクトが大きいことを指摘している。これから類推し、アーニャが英訳版において自称詞として *Anya* を使った場合、同様な効果が予想される。そのような効果は、役割語的な「人ならざるもの」(金水 2014)らしさを表すにはふさわしいが、超能力者とはいえ歴とした人間であるアーニャには不適切であるという理由からも、自称詞としての *Anya* の使用は採用されなかったのかもしれない。唯一の例外は、「アーニャんちへ いらさいませ」が *Welcome to Anya's house!* と訳されている表2の(4)aの文である。これは、*Welcome to Denny's!* のように、*Welcome to* の後に「名前's」が続くことに違和感がないため用いられたものと推察される。

### 3.2.2 アーニャのキャラクター言語における<幼児語>からの逸脱性

本項では、アーニャのキャラクター言語的特徴の逸脱性を体現する「書き言葉的表現の多用」と「<男ことば>的要素の使用」につき順に確認していく。

アーニャは、ひらがな表記ではあるが、幼児らしからぬ高難度の漢語系語彙を頻繁に用いる。調査資料全 19 話中、回想シーンのみで台詞なしの登場である第 12 話を除く各話で複数例の使用がある中から 4 例を英訳と共に表 5 にまとめる。

(表 5) アーニャの高難度の漢語系語彙を含む文例とその英訳

番号	日本語版	英訳版	該当箇所
(8)	a はは <u>そんざい</u> しない	THERE IS NO MOMMY.	vol. 1: 69, 71
	b ちちー！ アーニャのながさはんめいしたー！	PAPA! I GOT MEASURED!	ibid.: 96
	c <u>ざんだんすう</u> <u>はちぶんのに</u>	TWO EIGHTHS OF <u>AM-YOO-NISH-UN.</u>	vol. 2: 147
	d ちちー ははー アーニャ <u>きかん</u> したー！	PAPA! MAMA! I'M HOME!	vol. 3: 87

表 5 の英訳文例を見る限りでは、表記上の特徴への対応として 3.1.3 でも取り上げた(5)a/(8)c の「ざんだんすう はちぶんのに」以外には難度の高い語彙は含まれておらず、日本語版における「過剰なまでの<幼児語>的特徴の中に高難度語彙を挟むギャップの面白さ」は英訳版では読者に伝わりそうにない。

女兒らしさからの逸脱としての<男ことば>的要素の使用については、まず二人称代名詞「おまえ」の使用が挙げられる。英語の人称システム固定の壁は強固であり、英訳版においては、アーニャの使う二人称代名詞「おまえ」も、ベッキーの使う「あなた」や「あんた」も、また、他の登場人物が使う「キサマ」(vol. 3:73)も、英語では全て you で訳されている。したがって、<男ことば>的表現である「おまえ」を幼女であるアーニャが使うことの「標準からの逸脱性」は英訳版では表現できていない。

アーニャの言葉遣いにおけるもう一つの<男ことば>的要素は、命令形の使用である。命令形は<男ことば>的表現の一つであり、<女ことば>においては通常は「て」形を用いた依頼形で代用されることが多い(金水 2017)。調査資料中 4 例観察されるアーニャの命令形関連の台詞およびその英訳を表 6 に示す。[→ ]内の名前は発話が向けられた相手を指す。これ以降の引用例についても同様である。

(表 6) アーニャの命令形を含む台詞とその英訳

番号	日本語版	英訳版	該当箇所
(9)	a ぴーなつ <u>かいこんどけ</u> [→ ロイド]	STOCK UP ON PEANUTS!	vol. 1:100
	b とりあえず このなわ <u>ほどけ</u> [→ ロイド]	BUT... CAN YOU GET THIS OFF ME FIRST?	vol. 3: 123
	c “すたーらいと アーニャ”とよべ [→ ベッキー]	I GO BY “STARLIGHT ANYA” NOW.	ibid.:145
	d きゃさりんを しあわせに <u>してやれ</u> ... [→ ヨルの命を狙う元テロリスト]	GO HOME AND MAKE CATHERINE HAPPY.	ibid.:191

日本語の命令形は高圧的な印象が強く、上位者や男性が使うことが多いものであるため、「命令形を使用する幼女」というギャップが独特なキャラクター性を生み出す。表 6 の例文(9)のうち、日本語の命令文に英訳でも命令形が用いられているのは a と d のみであり、b は疑問文、c は平叙文である。それぞれ文脈にふさわしい自然な英語表現ではあるが、上述のギャップをうまく伝えるものではないだろう。

### 3.3 アーニャの言葉遣いのまとめ

3.1.と 3.2 で分析した、日本語版のアーニャの言葉遣いの役割語／キャラクター言語的特徴と英訳版における対応の結果を表 7 にまとめる。

(表 7) アーニャの役割語・キャラクター言語の特徴への英訳版の対応

日本語版		英訳版	
表現したい印象など	言葉遣いの特徴	対応	
人物像(属性)	<役割語>		
4～5歳の幼児の あどけなさや 片言らしさ 未就学児らしさ	語彙	接頭辞・接尾辞の付加	△ 1例のみ指小辞使用
	音声	省略、置換、省略+置換	△ シークエンス上必要な場合にマラプロピズムを使用
	表記	ほぼ総ひらがな表記	△ 多音節語に視覚方言+音節分割を使用
特異なキャラクター性	<キャラクター言語>		
4～5歳にして小学1 年生 過剰な幼女らしさ(対 比で強調)	過剰性	級友と比べて過剰な <幼児語>の使用	○ 級友の大人びた台詞の表現(性差あり、マラプロピズム・視覚方言・音節分割の不使用)との対比
		自称詞「アーニャ」の使用	× (一人称代名詞を使用)
心が読める超能力者 幼女らしさからの逸脱	逸脱性	書き言葉的表現(高難度な漢語系語彙)の多用	△ 多音節語における視覚方言+音節分割
		<男ことば>的要素である「おまえ」の使用 命令形の使用	× (二人称代名詞を使用) (文脈に応じた命令／依頼表現)

註：◎：英訳版にそのまま適用

○：適用されているが、英語の特性に従い調整

△：英語の特性によってそのまま適用できないが、他の方法で補われている

×：適用されていない

(山木戸 2019、p.48 の表1を参考に筆者が作成)

表 7 の英訳版の対応欄に付した記号が示す通り、日本語版における役割語的特徴については何らかの形で英訳版に適用されているが、キャラクター言語的特徴については、対比によるものを除いて適用度が低いようである。おそらく翻訳者は文脈に適した自然な英語表現と読みやすさを優先したものと思われる。日英語間の人称・表記体系の違いにより無理が生じやすい人称詞や文字種についてはあえ

て調整や適用を避け、シークエンスの整合性上必要な場合において英語のフィクションで用いられるマラプロピズム・視覚方言・音節分割等の手法を駆使して日本語版における特徴を自然な形で伝えようとする方針が感じられる。

#### 4. ヨルの言葉遣いの特徴

第 3 章に倣い、ヨルの言葉遣いの特徴を二つに分け、4.1 では役割語的特徴、4.2 ではキャラクター言語的特徴について論じながら英訳版における対応を分析し、4.3 にまとめを示す。

##### 4.1 ヨルの言葉遣いの役割語的特徴と英訳版における対応

ヨルの社会的な人物像である「20 代後半の事務職の女性」、「医者の妻」、「殺し屋」にステレオタイプ的に結びつけられがちな役割語としては、女性的な人称詞や終助詞、控えめな表現を用いる<女ことば>、優雅で落ち着いた女性的な表現が特徴の<奥様ことば>、マッチョな印象の卑語的な表現を多用する<やくざことば>等が通常想定されるが、彼女の言葉遣いの特徴はそのいずれでもなく、「誰に対しても常に丁寧語・敬語を使用すること」である。丁寧語・敬語は特に役割語としての分類ではないが、「性格」も役割語の表す属性の一つであるため、彼女の「礼儀正しい」という性格に結びつく丁寧語・敬語を役割語的特徴として挙げることにする。表 8 は、職場の同僚ならびに初対面の相手(ロイド)に対するヨルの丁寧語・敬語使用の例の抜粋である。

(表 8)ヨルの丁寧語・敬語表現を含む文例とその英訳

番号	日本語版	英訳版	該当箇所
(10)	a そうなの <u>ですね</u> ご忠告 感謝します! [→ 役所の後輩]	YOU'RE PROBABLY RIGHT. THANK YOU FOR WARNING ME!	vol.1: 79
	b ...それは 私の容姿に 好感をお持ちと <u>いうこと</u> で...? [→ ロイド]	SO... YOU'RE SAYING YOU HAVE A POSITIVE IMPRESSION OF MY APPEARANCE?	ibid.:95
	c <u>ご迷惑</u> でなければ <u>ご一緒に</u> パーティーに <u>出て頂</u> けないかと... [→ ロイド]	I KNOW IT'S A LOT TO ASK, BUT... I'D LIKE TO TAKE YOU TO A PARTY.	ibid.:98
	d ただ殿方との <u>お付き合い</u> 自体 <u>初めて</u> なので <u>どのよう</u> にふるまえばいいか <u>わから</u> なくて... [→ 役所の後輩]	IT'S JUST THAT IT'S MY FIRST RELATIONSHIP, AND I DON'T KNOW HOW TO BEHAVE...	vol. 3: 69

自称詞は「私(わたし)」で((10)b 参照)、女性としてはごく普通であるが、接頭辞「ご」・「お」、「です・ます」体、謙譲表現やフォーマル度の高い語彙「殿方」・「どのように」の使用のほか、「～ので→～んで」の撥音便化がない、「でなければ→じやなければ」の転化がないなど、丁寧度がかかなり高い上、俗語や若者ことばの使用

もない。とはいえ、(10)a・(10)d のように職場の後輩に丁寧に接するのは特に奇異なことではないし、またヨルとロイドの初対面のシーンである(10)b・(10)c においても、出会ったばかりの相手へ問いかけや頼み事をする際に敬語になるのも普通のことである。英訳においては、俗語の使用こそないが、you're や I'd のような縮約形が用いられており、特にフォーマルな言い回しもない。(10)b においては日本語版のやや固い言い回しがほぼそのまま訳されているが、全体的には丁寧度は特に高くなく、作中の状況での若い女性の言葉遣いとして違和感がないことを主眼に訳出されているようである。

#### 4.2 ヨルの言葉遣いのキャラクター言語的特徴と英訳版における対応

ヨルもまた、アーニャより登場シーンやセリフがやや少ないが主要なキャラクターである。非現実的なテレパスという存在であるアーニャに比べると、ヨルの人物像である「表向きは公務員だが実は殺し屋である若い女性」の实在の可能性はゼロではないため、キャラクターとしての特異性はアーニャより低い。殺し屋というネガティブな要素を持つヨルには、「天然」というキャラクターづけがなされている(「SPY×FAMILY」2021)。いわゆる「天然キャラ」とは、一般とは少しズレていることに無自覚な言動や奇抜な発想が笑いを誘い、相手によって態度を変えることのないおっとりした性格で周囲の人間から好感を持たれがちな属性を指し、実生活のコミュニケーションにも取り入れられている認知度の高いキャラクターの一つである(千島・村上 2015)。キャラクター言語には、「し、心配なんてしてないんだからねっ!」という典型的なフレーズで知られる「ツンデレ」キャラの言語のように、発話頭の吃音化、接続詞「から」による言いさし、終助詞「ね」、発話末の促音付加(西田 2011 他)といった特定の言語的特徴が認められるものもあるが、天然キャラにはそれがなく、一般的に「のんびりした話し方」と描写されるにとどまる。しかし、天然キャラとして知られる漫画・アニメのキャラクターの中には、誰に対しても終始丁寧語・敬語で話す者が多い<sup>4</sup>。それらと比べても、ヨルの言葉遣いには丁寧語・敬語の用法において度を越えた「過剰性」が観察される。表 9 にその例の中でも対象・状況的に特に過剰な印象を与えるものを挙げ、英訳版における対応を分析する。

(表 9) ヨルの丁寧語・敬語の過剰な用法の文例とその英訳

番号		日本語版	英訳版	該当箇所
(11)	a	承りました [→ アーニャ]	I'LL MAKE YOU SOME.	vol.1:153
	b	ありがとう ございます アーニャさん [→ アーニャ]	THANK YOU SO MUCH, ANYA!	vol. 2: 167
	c	牛さんにも 効くかなと 思って ...! [→ ロイドとアーニャ]	I JUST THOUGHT THEY MIGHT BE THE SAME FOR COWS...	vol. 1: 177
	d	.....なるほど 私には 分不相応 な場所 だったようです... [独白]	IT'S CLEAR TO ME NOW. THIS IS ALL BEYOND MY GRASP.	ibid.: 109

	e	はっ... おちつく <u>のです</u> ヨル! 気を <u>しっかり</u> <u>持つのです</u> ! [→ 自身]	<i>SO DON'T PANIC, YOR! KEEP IT TOGETHER NOW ...</i>	vol. 3: 35
(12)	a	<u>大変恐縮</u> なのですが... <u>息の根</u> <u>止め</u> させて頂いても <u>よろしい</u> でしょうか? [→ ブレナン次官]	<i>I APOLOGIZE FOR THE INTRUSION, BUT... MAY I HAVE THE HONOR OF TAKING YOUR LIFE?</i>	vol. 1: 85
	b	<u>お命</u> いただいても <u>差し支え</u> <u>ございません</u> でしょうか... ? [→ イケニエール書記官]	<i>I'M HERE TO TAKE YOUR LIFE. I HOPE YOU'LL DO ME THE HONOR OF NOT RESISTING.</i>	vol. 2: 15

文末の敬体は通常聞き手への敬意を表すため、聞き手が自分である場合は普通使わないものであるが、ヨルは、他者との会話はもとより、独白や自身へ語りかけの場合でも、丁寧語・敬語表現を用いる。また、弟のユーリと自分自身に話しかける時を除き、役職名のない全ての名前を「さん」付けで呼ぶ。夫と娘も、常に「ロイドさん」、「アーニャさん」である。偽装結婚の相手とその連れ子(だとヨルは信じている)に「～さん」付け・丁寧語で話すという状況は十分あり得る。しかし、(11)c のように「牛」にまで「さん」付けしている(「牛」が漢字表記であるため<幼児語>ではなく丁寧語に分類する)。(11)a の「承りました」は「ここあ のみたい」というアーニャの要望に応えたものであるが、仮にも家族である幼児に対しては過度なフォーマルさである。また、(12)の各例文にある通り、暗殺対象に話しかける際には「させて頂く」、「ごさいません」、「でしょうか」等の表現によりフォーマル度がさらに上がっている(ちなみに、(12)b はヨルの妄想上の暗殺シーンである)。これらは、ヨルが組織の上司を「店長」、暗殺対象を「お客さま」、暗殺行為を「接客」と称していることから、フォーマル度の高い高級ホテル等のレベルの接客業における言葉遣いを模しているものと推察される。「殺し屋」に結びつけられがちな役割語が終助詞「ぜ」や文末表現「～やがる」のようなマッチョで卑語的な表現の多い<やくざことば>であることを考えると、その代わりにフォーマルな敬語を用いることは、ヨルの裏の職業属性である「殺し屋」の役割語的特徴からの逸脱性を示すものである。

英訳版では、(11)の各例文の「～さん」や「です・ます」体のレベルの丁寧度をマークする適切な英語表現がないため、俗語を使わないことで丁寧な印象を与えようとしているようである。(11)a の「承りました」は *Certainly, miss.* のような表現に相当するフォーマル度の高さであるが、それでは状況的に不自然であるためか、*I'll make you some.* という普通に丁寧な表現にとどまっている。一方、暗殺対象への敬語表現は、*May I have the honor of...* といった相応レベルのフォーマル度の高い表現を用いての対応がなされている。これは、英語表現上可能で状況的にも合理的な説明がつくためであると思われる。

ヨルの礼儀正しい言葉遣いは、役所の後輩である若い女性たちのくだけた話し方との対比によっても強調されている。表 10 は、後輩である 3 人の会話の台詞の抜粋とその英訳をまとめたものである。

(表 10) 後輩女性のくだけた話し方の文例とその英訳

番号		日本語版	英訳版	該当箇所
(13)	a	ヤバくない? 犯人キモくない?	DOESN'T THAT CREEP YOU OUT? HE MUST BE SOME KIND OF PERVERT!	vol. 1: 76
	b	なにそれウケるー	THAT'S HILARIOUS.	ibid.: 78
	c	ちょっとハードル 高すぎじゃん?	DON'T YOU THINK THAT'S TOO AMBITIOUS FOR HER?	ibid.: 79

後輩の 3 人は、先輩であるヨルに話しかける時には「です・ます」体を使うこともあるが、3 人で話す際には「ヤバい」・「キモい」・「ウケる」、「ではないか→じゃん」の転化のような俗語・若者言葉・くだけた表現の使用が多く、誰に対しても丁寧語・敬語で接するヨルとは対照的である。英訳では、(13) a で *creep out*、*some kind of* などの表現が使用され、若者らしいくだけた感じを出しているようであるが、(13) b・(13) c では日本語原文に比べ、より大人しい印象の表現になっている。

#### 4.3 ヨルの言葉遣いのまとめ

4.1・4.2 では、日本語版のヨルの言葉遣いの役割語的・キャラクター言語的特徴について英訳版でどのような対応が取られているかを分析・考察した。丁寧語・敬語自体は年齢や性別に関係なく使用され得るが、20 代であれば年長者に対して敬語を使う機会も多く、また女性は男性に比べて丁寧な話し方をする場合が多いため、ヨルの役割語的特徴は、彼女の「若い女性」という人物像にも「礼儀正しさ」という属性にも結びついていると言えるだろう。そしてヨルのキャラクター言語は、役割語である丁寧語・敬語を過剰にすること(用法の拡大・レベルの引き上げ・後輩の言葉遣いと対比)で表現されている。表 11 に示す通り、英訳版での対応度はキャラクター言語的特徴のほうが高くなっている。

(表 11) ヨルの役割語・キャラクター言語の特徴への英訳版の対応

日本語版『SPY×FAMILY』		英訳版 <i>SPY×FAMILY</i>	
表現したい印象など	言葉遣いの特徴	対応	
人物像(属性)	<役割語>		
(若い)女性 礼儀正しい	各種丁寧語・敬語表現、接頭辞「ご」・「お」、「です・ます」体等	×	---
	フォーマル度の高い語彙「殿方」・「どのように」等	×	---
	音便化・転化表現の使用なし	×	---
	俗語・若者言葉の使用なし	◎	俗語・若者言葉の使用なし



特異なキャラクター性	<キャラクター言語>			
天然キャラ 過剰な礼儀正しさ (対比で強調) 殺し屋のステレオタイプからの逸脱	過剰性	通常使用されない相手に対する丁寧語・敬語の使用	△	俗語・若者言葉の使用なし
	・	暗殺対象者へのフォーマルな敬語の使用	◎	フォーマルな敬語の使用
	逸脱性	後輩女性のくだけた表現との対比による過剰な礼儀正しさ	○	後輩女性のくだけた表現の使用

註：◎：英訳版にそのまま適用  
○：適用されているが、英語の特性に従い調整  
△：英語の特性によってそのまま適用できないが、他の方法で補われている  
×：適用されていない

(山木戸 2019、p.48 の表1を参考に筆者が作成)

## 5. 考察

本章では、第3・4章の分析結果をもとに、アーニャとヨルのキャラクターと言語的特徴の分類ならびに英訳上の対応手法について考察し、さらに、第一に「アーニャとヨルのキャラクター言語的特徴が各人の役割語的特徴に過剰性と逸脱性を加味したものであるかどうか」、および第二に「言語共同体内での認知度が高い役割語的特徴のほうが、認知度の低いキャラクター言語的特徴より英訳版における対応度が高いかどうか」の2点について検証する。

金水(2017)は、フィクション作品中のキャラクターを重要度と役割語の使用に基づき、<クラス1>主人公および準主人公(標準語が基調、役割語度は低い)、<クラス2>重要なキャラクター(典型的な役割語/標準語/通常 of 役割語の変形型/独特のユニークな話し方)、<クラス3>ほぼ1回のみの登場でほぼ無名の人物(典型的または無難な役割語/標準語)の3つに分類している。これによると、調査対象全597ページの57%に登場するアーニャも51%に登場するヨルも<クラス1>に近い<クラス2>に属し、アーニャは「独特のユニークな話し方」、ヨルは「通常 of 役割語の変形型」である。さらに、金水(2016)によるキャラクター言語の代表的な話し方のパターンに当てはめると、超能力を生かして任務に協力するなどのプロット上の重要性を担うアーニャのそれは、「物語上の役割から割り当てられた特殊な話し方」であり、天然キャラであるヨルの過剰に礼儀正しい言葉遣いは、「話し手の個性の表現として用いられている話し方」に該当する。

過剰性と逸脱性の観点からまとめると、まずアーニャについては、役割語としての<幼児語>に級友との対比による過剰性が加わり、また、他者の心を読むことによって身につけたと思いき書き言葉・<男ことば>的要素による<幼児語>からの逸脱性も認められる。一方、ヨルの礼儀正しい若い女性の役割語としての丁寧語・敬語にも、後輩との対比で天然キャラらしい過剰性が加わっている。そのような過剰な丁

丁寧語・敬語は、見方を変えれば、彼女の裏の顔である「殺し屋」のステレオタイプの言葉遣いからの逸脱性の表現であるとも言える。

キャラクターの物語内での機能に基づくキャラクター・アーキタイプ(金水 2017、Vogler 2007)としては、アーニャとヨルに適用されるのは「トリックスター」、「同調者」および「変貌者」である。アーニャは、幼さゆえの限られた知的能力とテレパスとしての超能力により、道化的に場を和ませたり悪戯めいた行動で状況に変化をもたらしたりする「トリックスター」であり、かつ、主人公ロイドの任務に協力しようとする「同調者」(＝主人公に同行し様々な役割を果たす者)の役割も担っている。ヨルは、天然キャラとして笑いを誘いつつ意外な展開をもたらす「トリックスター」の側面を持ちながらも、天然キャラの「好かれる」という要素により、今後殺し屋という正体を知られたとしてもロイドの偽装結婚相手から恋愛対象に変貌するポテンシャルを持ち、アーキタイプ的には「変貌者」(＝しばしば主人公の恋愛対象となる、態度や考えの変わる捉えどころのない存在)に分類される。以上を表 12 にまとめる。

(表 12) アーニャとヨルのキャラクターと言語の分類

名前	アーニャ	ヨル
クラス分類	クラス 2: 重要なキャラクター(クラス 1 に近い)	
キャラクター 言語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・独特の話し方</li> <li>・物語中の役割上割り当てられたもの</li> <li>・対比による過剰な&lt;幼児語&gt;と、それから逸脱した書き言葉・&lt;男ことば&gt;的要素</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通常の役割語の変形型</li> <li>・話し手の個性の表現として用いられるもの</li> <li>・対比による過剰性と裏属性からの逸脱性を併せ持つ丁寧語・敬語</li> </ul>
アーキタイプ	トリックスター(+ 同調者)	変貌者(+トリックスター)

上述の第一の検証点に関しては、アーニャとヨルのキャラクター言語的特徴は、各人の役割語的特徴に過剰性と逸脱性を加味したものであると結論づけられる。これは、両者のキャラクター・アーキタイプがトリックスター(愚者であり賢者)や変貌者といった二面性を具有するものであることに起因すると推察される。

第二の検証点の「言語共同体内での認知度が高い役割語的特徴のほうが、認知度の低いキャラクター言語的特徴より英訳版における対応度が高いか」に関しては、アーニャについての英訳版における対応度は役割語的特徴のほうががわずかに高いが(表 7 参照)、ヨルについての英訳版における対応度はキャラクター言語的特徴のほうが高くなっている(表 11 参照)。これは、ヨルの言語的特徴が丁寧語・敬語という認知度の高いものであるということも一因かもしれない。しかしながら、アーニャの特徴が英語の文法・用法上自然な対応が難しい人称詞や命令形関連のものである一方で、ヨルの特徴がぐだけた表現との対比やフォーマル度の高い敬語の使用等、英語でも無理なく対応できる種類のものであったことに起因する可能性が高い。翻訳の究極の目標が翻訳版の読者に母語読者が原著を読んだ際に得られるのにできるだけ近い読みやすさと正確な内容理解を提供することであるとしたら、

シークエンスの整合性と訳文表現の自然さ・読みやすさが優先されるのはやむを得ない。『SPY×FAMILY』は、可能な部分は英語として無理のないよう調整を施した上でキャラクター言語的特徴を訳語に適用し、アーニャとヨルのキャラクター性を英語として違和感のない範囲で効果的に伝えることに成功していると言える。

## 6. おわりに

本論考では、漫画『SPY×FAMILY』の主要登場人物であるアーニャとヨルの言葉遣いの役割語・キャラクター言語的特徴を整理し、その英訳版における対応を分析した。それに基づいて二人のキャラクターおよびキャラクター言語の分類と関連性を分析し、英訳上の対応と合わせて考察した結果、アーニャとヨルのキャラクター言語的特徴は、各人の役割語的特徴に過剰性と逸脱性を加味したものであると考えられ、また、英訳においては、シークエンスの整合上必要な点に加えて、英語の文法・用法上無理のない種類の特徴への対応度が高いという知見を得た。

本論考は、日本語原文と英訳文を非英語母語話者である筆者（日本語母語話者）が対照分析した見解に基づくため、英語母語話者ならではの気づきや意見が反映されていない。また、翻訳者の意図とは異なる推察が行われている可能性も少なからずある。今後は本研究を発展させ、翻訳者 Casey Loe 氏へのインタビューや、英語母語話者を対象としたアンケートを実施し、知見を広げ考察を深めたい。将来的には、漫画作品における役割語・キャラクター言語翻訳のケーススタディを増やし、日本の漫画作品の翻訳の質の向上と国際化への貢献を目指したい。

### 【著者紹介】

イーヴァソン房枝 (IVARSSON Fusae) ヨーテボリ大学人文学部言語文学科助教授。PhD(日本語学 2016 年)。専門は日本語学(表記)と役割語研究。

### 【註】

<sup>1</sup> 本稿では、金水(2003、2014)に倣い、役割語の分類名を< >内に表示する。

<sup>2</sup> 本稿の第 2.1・2.2・3 章は、イーヴァソン(2021)の第 3～5 章を抜粋・統合・整理・修正して再構築したものである。

<sup>3</sup> 本稿では、作品の基本設定のほか、日本語版・英訳版とも単行本第 3 巻までの全 19 話(本編 17 話+番外編 2 話)計 597 ページの台詞を含む内容に言及している。英語版第 4 巻は本稿締切間近の発行であり、筆者の在住地域では締切前に入手できなかったため、第 3 巻までを調査資料とした。

<sup>4</sup> アニメ化もされた漫画作品『のだめカンタービレ』(二ノ宮知子・著)の主人公「のだめ」こと野田恵、同じく『彼方のアストラ』(篠原健太・著)の準主人公アリエス・スプリング等。

【資料文献】

- 遠藤達哉 (2019a) 『SPY×FAMILY <1>』東京:集英社.  
遠藤達哉 (2019b) 『SPY×FAMILY <2>』東京:集英社.  
遠藤達哉 (2020a) 『SPY×FAMILY <3>』東京:集英社.  
Endo, T. (2020a) *SPY x FAMILY, Vol. 1* (C. Loe, Trans.). San Francisco: VIZ Media.  
Endo, T. (2020b) *SPY x FAMILY, Vol. 2* (C. Loe, Trans.). San Francisco: VIZ Media.  
Endo, T. (2020c) *SPY x FAMILY, Vol. 3* (C. Loe, Trans.). San Francisco: VIZ Media.

【引用文献】

- 千島雄太・村上達也 (2015) 「現代青年における“キャラ”を介した友人関係の実態と友人関係満足感の関連—“キャラ”に対する考え方を中心に—」『青年心理学研究』26: 129-146. 日本青年心理学会.  
De Nazareth Figueira, F. (2019) 「日本語からブラジル・ポルトガル語への翻訳における『役割語』への対応手法—漫画における『異人ことば』を例として」『通訳翻訳研究への招待』21: 41-60. 日本通訳翻訳学会.  
イーヴァンソン房枝 (2019) 「マンガに現れるヴァーチャル表記—日本語表記の特徴を生かした表現効果—」M. Shimotori and F. Ivarsson (Eds.). *Kawauso: simmandes i språkströmmen*. 47-70. Göteborg: Göteborgs universitet.  
イーヴァンソン房枝 (2021) 「特異な主要キャラクターのキャラクター言語に見られる過剰性と逸脱性—アーニャ(『SPY×FAMILY』)とナカタさん(『海辺のカフカ』)の日英対照—」金水敏(編)『村上春樹翻訳調査プロジェクト報告書(4)』1-48. 大阪大学大学院文学研究科.  
金水敏 (2003) 『ヴァーチャル日本語 役割後の謎』東京:岩波書店.  
金水敏 (2014) 『<役割語>小辞典』研究社.  
金水敏 (2016) 「役割語とキャラクター言語」金水敏(編)『役割語・キャラクター言語研究国際ワークショップ 2015』5-13. 大阪大学大学院文学研究科.  
金水敏 (2017) 「言語—日本語から見たマンガ・アニメ」山田奨治(編)『マンガ・アニメで論文・レポートを書く—「好き」を学問にする方法—』239-262. ミネルヴァ書房.  
金水敏 (2018) 「小説における仮名の一用法と翻訳—村上春樹作品を例に—」公益財団法人日本のローマ字社(編)『ことばと文字』10: 83-89. くろしお出版.  
金水敏(編) (2018) 『村上春樹翻訳調査プロジェクト報告書(1)』大阪大学大学院文学研究科.  
金水敏(編) (2019) 『村上春樹翻訳調査プロジェクト報告書(2)』大阪大学大学院文学研究科.  
金水敏(編) (2020) 『村上春樹翻訳調査プロジェクト報告書(3)』大阪大学大学院文学研究科.

- 金水敏(編)(2021)『村上春樹翻訳調査プロジェクト報告書(4)』大阪大学大学院文学研究科.
- 守秀子(2015)「幼児期の自称詞使用に関する実態調査」『研究紀要』7:15-28.文化学園長野専門学校.
- 西田隆政(2011)「役割語としてのツンデレ表現—『常用性』の有無に着目して—」金水敏(編)『役割語研究の展開』265-278.くろしお出版.
- 岡崎友子・南侑里(2011)「役割語としての『幼児語』とその周辺」金水敏(編)『役割語研究の展開』195-212.くろしお出版.
- 「SPY×FAMILY」『フリー百科事典 ウィキペディア日本語版』(2021年5月30日).  
<https://ja.wikipedia.org/wiki/SPY×FAMILY>.
- 山口治彦(2007)「役割語の個別性と普遍性—日英の対照を通して—」『役割語研究の地平』9-25.くろしお出版.
- 山木戸浩子(2018)「日本語の文学作品における言語変種の英語翻訳—村上春樹(著)『海辺のカフカ』ナカタさんの話し言葉から考える—」『通訳翻訳研究への招待』19:1-21.日本通訳翻訳学会.
- 山木戸浩子(2019)「ナカタさん(『海辺のカフカ』)の変わった話し方は英語でどのように翻訳されるのか」金水敏(編)『村上春樹翻訳調査プロジェクト報告書(2)』18-50.大阪大学大学院文学研究科.
- Lakoff, R. (1973). Language and woman's place. *Language in Society*, 2(1), 45–80.
- Picone, M. D. (2016). Eye dialect and pronunciation respelling in the USA. In V. Cook and D. Ryan (Eds.), *The Routledge Handbook of the English Writing System* (pp. 331–346). Abingdon & New York: Routledge.
- What to Expect. (2019, February 24). *Using the third person — How toddlers talk about themselves*.  
<https://www.whattoexpect.com/toddler/language-development/using-the-third-person.aspx>
- Vogler, C. (2007). *The writer's journey: Mythic structure for writers*. Studio City: Michael Wiese Productions.

